

## 愛の挨拶

いつまでも残るのは  
信仰と 希望と 愛、これら三つです。  
その中で 一番すぐれているのは、愛です。  
愛を追い求めなさい。  
( 聖書・コリント人への手紙第一 13 章 13 節 )

その後、お変わりございませんか？

- 何人かの方からは、親しい方が亡くなられたとの、お葉書をいただいています。  
慎んで、哀悼の意を表したいと思います。  
「フロイス日本史」を完訳してくださり、お世話になった 川崎桃太さんも、9/30 に、104 歳で 帰天されていきました。
- 多くの方々から、クリスマスカードや年賀状をいただき、ありがとうございます。  
一枚一枚 うれしく拝見させていただきながら、それぞれ ご活躍の様子や近況を知ることが出来、感謝いたします。
- 今年の初日の出は、どうだったでしょうか？  
私は、毎年、初日の出は、高槻城跡公園にある「高山右近像」の所で迎えています。  
朝 6 時に起きて、6 時半に家を出発。  
前日の予報では、降水確率 10%の好天気のはずだったのですが、高槻城跡公園に着いた頃には、東の空は、雲が厚くかかっていました。  
15 人ほどの人たちと一緒に、初日の出を待っていました。  
7 時 15 分、2020 年の初日が姿をあらわしました。  
しかし、間もなくして、雲間に隠れてしまいました。  
半時間ほどたって、雲が消えていき、初日をしっかり受けて、右近像も うれしそうでした。右近さんも祈られた、当時の言葉で、[パアテル・ノステル 主の祈り] を祈りました。  
今年も・今年こそ、よき一年となりますように。

カトリック高槻教会に立ち寄り、元朝の聖堂で、祈りをし、リコーダーの初弾きで、右近さんのことを歌った「主こそ わが光」そして「いつくしみ深き」「Amazing Grace」を賛美しました。

聖堂の外に出ますと、「祈る高山右近像」に初日が当たって、長〜い 影の右近像が出来ていましたヨ！

- 家に帰って、おいしく お雑煮をいただいて、11 時からもたれる、阿武山福音自由教会での「元旦礼拝」に、夫婦で出かけて行きました。

礼拝メッセージは、新約聖書の「テモテへの手紙第二」4 章の みことばから、「一年の計は」と題して、松田悦子牧師が語って下さいました。

- 子ども達（4 カップル 8 人）・孫たち（4 人）、それぞれ元気にすごさせていていて、感謝です。

毎年1月3日に、恒例の、久保田家 [新年食事会] を持っています。

全員がそろうのは、だんだん むずかしくなってきましたが、今年も 共に集まって、おいしくて・楽しい時を持たせていただきました。

私は、ふだんは“高山右近研究”関係の資料でいっぱい部屋を、一時、資料を別の場所に移動させて、会場準備。

妻は、早めから時間をかけて、みんなが喜びそうな「おせち料理」を準備してくれました。

松風焼き・龍の目焼き・ローストビーフ・豚の角煮・栗きんとん・黒豆・だて巻き・いりこナッツ・紅白柿なます・いくらと かぶの菊花漬け・サラダ・海水漬け・椎茸煮・アメリカンドック

別に、海老フライ・鶏の唐揚げ・黒豆を 娘たちが届けてくれ、大盛りの お寿司 3 皿も加わって、楽しくおしゃべりしながら、5 時〜9 時までの4 時間、幸いな時をすごさせていただきました。

最後は、私たち夫婦や 各カップルから孫たち、それぞれへの お年玉のプレゼント！

子ども達 8 人・孫たち 4 人、そして私たち夫婦。久保田家 1 4 人。

毎日、みんなのために、夫婦で、

主なる神さまの守りと恵みと祝福を、祈っています。

- 昨年は、いろんな皆さんとの出会いの中で、多くの恵みをいただいた年でした。
- ・ 2/22 [高山右近のちよつといい話・日本文化に生きる右近] について、  
大阪梅田・サクラファミリアで 話させていただきました。
- ・ 5/20～22 韓国イエヌン教会青年チームが、阿武山福音自由教会を訪ねて来て  
くださいました。“日韓交流アワー” も楽しい時でした。
- ・ 9/15～17 [日本福音自由教会・70周年記念大会] が持たれ、北海道から沖縄まで、  
全国から集まって、すばらしい交流の時となりました。
- ・ 10/20 松田悦子牧師の就任式が持たれ、多くの皆さんに祝福させていただきました。
- ・ 11/14～16 [全国かくれキリシタン研究会・京都大会] に夫婦で参加し、貴重な  
学びと体験をさせていただきました。

● ホームページ「高山右近研究室・久保田へようこそ」や「高山右近研究室のブログ」も、  
多くの方々が ご覧いただいているようで、感謝です。

高山右近さんを通じて、インターネットによって、出会いがあり・ネットワークが広がり・  
つながりが強められ・研究が深められていくことは、貴重な体験であり、感謝しています。

新しい年・2020年は、どのような一年になるのでしょうか？

今年 79 歳になるわけで、年齢と共に、弱さを覚えることは確かですが、

“内なる人” は ますます新しくされていって、神と人を愛し・仕えさせていただきたいと  
思います。

本年も、よろしくお祈りします。

神の祝福が 豊かにありますように。 God bless you , God bless us !

主の年 (A.D.) 2020 年 1 月

久保田 典彦

忠子